

IoT時代のワンポイント講座 地図・地球データ

第17回 Myオリジナル地図アプリを作る

平野 匡伸

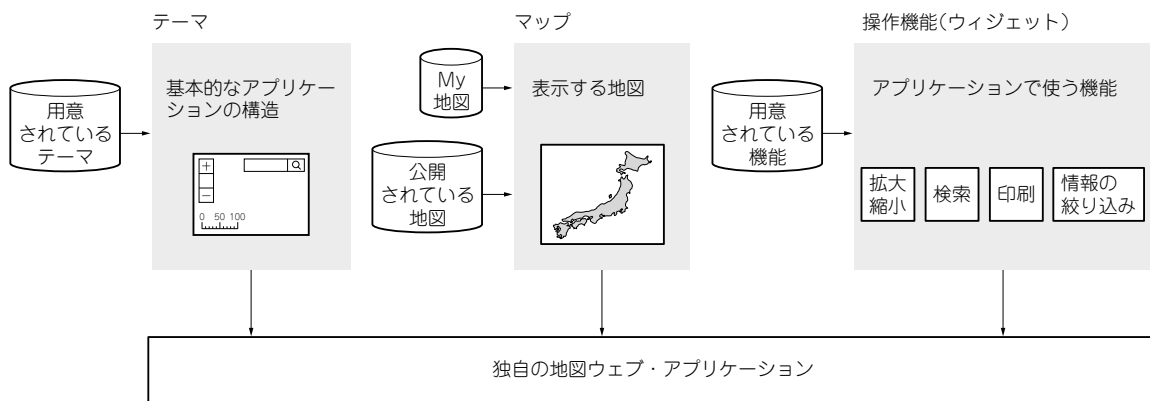


図1 Myオリジナル地図アプリを作る

オリジナル地図アプリを作る

My オンライン地図(ウェブ・マップ)は地図上に独自の地点情報などを重ねて表示するクラウド上のウェブ・アプリケーションです。拡大縮小や検索など地図を操作したり、表示を切り替えたりする機能があります。これらはどのような種類の地図にも適する一般的な機能ですが、使う地図や情報によっては、その情報に特化した専用の機能や表示方法があるとより便利です。同じ情報であっても用途によって最適な表示方法が異なる場合もあります。

例えば同じ地域の地図を使う場合であっても、車で移動する場合と、電車で移動する場合では、最適な操作機能は異なるかもしれません。利用者が必要としている情報も異なるので、情報の絞り込みが簡単にできると使いやすい地図アプリケーションとなります。

そこで今回は、地図の特徴や用途に合わせて閲覧者に使いやすい操作方法や表示機能を用意する、My 地図アプリケーションの作り方を紹介します。

● 方法

本連載では、クラウド・サービス ArcGIS Online を使っています。地図に関係するいろいろなサービスを

提供しており、その一部は無償で使えます。

独自のアプリケーションを作る方法も2つ用意されています。

▶方法1：プログラミングで作る

ArcGIS OnlineではJavaScriptのプログラムから、ライブラリを呼び出すことで、地図を使った独自のウェブ・アプリケーションを開発できます。ライブラリとして用意されていない機能もJavaScriptでプログラムを組めば、自在に実現できます。しかし、JavaScriptプログラミングのスキルや、ウェブ・アプリケーションの開発スキルが必要であり、開発の工数もかかるため手軽に作れません。

▶方法2：GUIベースのビルダーで作る

一方、そこまでの自由度は必要なく、もっと簡単に地図のウェブ・アプリケーションを作る場合、グラフィカルに操作できる「Web AppBuilder for ArcGIS (以下：ビルダー)」の使用が適しています。

ビルダーには、アプリケーション画面のレイアウトを決める「テーマ」が数種類と、「ウィジェット」と呼ばれる「地図操作機能の部品」が多数用意されており、それぞれを選択肢から選ぶだけで、プログラムを組むことなく、独自の地図のウェブ・アプリケーションを作成できます(図1)。

第8回 現在地からの地形的見える範囲が示せる「可視性解析」(2018年9月号)

第9回 地図情報を共有して使うために重要なメタデータ&規格(2018年11月号)

第10回 データ同士を空間上に重ねて関係性を調べる「オーバレイ解析」(2018年12月号)